

2025年度 NPO法人あごらびあ 活動計画（案）

「とり戻すのは メンドくさい つながり」

基本方針①

誰もが地域の中で安心して暮らし、つながり、役割をもって生きる社会をつくる。

基本方針②

「あごらびあ」らしい運営スタイルをつくろう

あごらびあは、上下関係や指示命令型の「組織」から、目的に基づき、個人とチームが自律的に動く協働体（ティール組織：一人ひとりが主役のチーム）への進化を目指します。

I.活動の重点目標

項目	ゴール
自己組織化の基盤構築	ぴあぴあパーリーの仕組みを定着させる 各事業所でのミニチーム導入
全体性の発現	ピア（利用者）の活躍、語り学びの会の定着 職員が担当を超えて協力すること
存在目的の内省と共有	地活Ⅰ型事業構想の共有化、福祉教育の展開 小学校区まちづくり協議会への参加

II.具体的なとりくみ

2-1. 運営委員会「ぴあぴあパーリー」：〈自主経営〉と〈全体性〉を体現する中核拠点へ

- ・年6回開催（4月、6月、7月、9月、11月、3月）
 - ・法人内のあらゆる立場（会員/職員/ピア（利用者）/地域）を横断する対話と意思決定の場として機能。
 - ・年6回の定期開催を通じて、「仕組みをつくって→続けて→あたりまえにする」のプロセスを推進。
 - ・イベント・広報を通じて、新しい“役割”の創出を図り、人材育成の起点となる。
 - ・各事業所の実践とリンクした“テーマ型チーム”の発足により、自己組織化の仕組みを持続的に育てる。
- 「みんなで経営する」ことの具体化。

2-2. 情報共有と意思決定のしくみ：〈自主経営〉と〈存在目的〉を支える運営土台の整備

- ・小さな意思決定は現場主導、方向性や戦略は「ぴあぴあパーリー」“皆で話し合いながら決めるしくみ”。
 - ・「語り学びの会」や「ぴあぴあパーリー」など、主観的な声をすくい取る仕組みが意思決定と結びつく構造。
 - ・上からの指示ではなく、関係性や経験に根ざした“お互いを理解し合って一緒に決めること”を目指す。
- 私たちの目指すものを、みんなで育てていく土台をつくる。

2-3. ほのぼのプロジェクト(会員との関係性づくり):あごらびあ会員とつくる、小さな安心のヒロバ

別紙①参照

- ・あごらびあ会員 の活動や交流の場として「ほのぼのヒロバ」を活用。
 - ・フリースペースとしての活用を通して“支援の外側”での出会いや役割の創出を推進する。
 - ・「あったらいいな」を形にする、ユーモアや生活感に根ざした文化的交流が、心理的安全性を育む。
- “支援する人・される人”を超えたつながりの共同体をつくる試み。いろんな価値観を楽しく分かち合う。

2-4. 協力医療機関 心のクリニック語り学びとの連携:〈全体性〉と〈存在目的〉をつなぐ“対話の場”の形成

- ・地域の人たちが同じテーブルにつく公開セッションは、「立場や役割を越える実験」。
 - ・語り学びの会(仮称:語り合いながら、“自分らしさ”と出会い直す場)を通じて“生き方”や“経験の意味”を共有。
 - ・医療/福祉の専門職関与を「支配」でなく「支援」「伴走」として再構築する姿勢が鍵。
- 多様な声と対話で、生きることを支えるそれぞれのまなざしを見直す。

2-5. 福祉教育プロジェクト:〈存在目的〉と〈全体性〉の育成の場 を展開

- ・体験型・演劇型教材の導入により、「わかってもらう」ではなく「共に考える」教育への脱皮。
 - ・ピア(利用者)を企画段階から巻き込むことで、“教育される側”が“教育する側”に回る構造変化を試みる。
 - ・地域の人たちと協働することで、「ケアが必要な人の声や立場」が、地域の大事な課題として見える。
- 社会とともに、あごらびあの意味をひらく。

2-6. 地域活動支援センター I 型事業構想:〈存在目的〉を未来に向けて深化させる事業をつくる (2025 年 7 月準備チーム発足予定)(2026 年 4 月～事業開始予定)

- ・多様な関わり方(訪問/通所/オンライン)や、ピア(利用者)との共同行為の仕組みは、“新しい福祉”を地域に提示。
 - ・2025 年度中のチーム立ち上げは、法人全体で“存在意義の可視化”と“共創”を問い直す起点。
- 単なる事業の開始ではなく、「あごらびあの魂」をみんなで試しながらつくっていく初めの一步。

2-7. 小学校区まちづくり協議会への参加:〈存在目的〉と「地域共創」の実践的接続

- ・地域の課題や資源を共有する協議会への参加を通じて、「地域と共にある福祉」の姿を具体化。
 - ・ピア(利用者)の声を地域づくりの現場に届けることにより、生活者視点の政策や活動を後押し。
 - ・福祉教育/ほのぼのプロジェクト/語り学びの会(仮称)などの実践と連動し、地域共創のモデルづくりを促進。
- “地域に根ざす”を超えて、“地域とつくる”福祉のあり方を探る。

Ⅲ.組織文化と育成（ティール3原則とあごらびあの実践）

ティール組織（3つの原則）に学び、「あごらびあ」らしい運営を実践するために福祉の現場にふさわしい「対等でひらかれた運営体制」をつくります。

※ティール組織（3つの原則の実践方針）

🌀 自主経営（Self-management）「自主性」と「ともに創る」関係を広げる

ひとりひとりが主体的に動けるように、「みんなで経営する」という仕組みづくりへ。役割に縛られず、関わり方を自分で選び、動ける仕組みを整えます。

🌱 全体性（Wholeness）「その人らしさ」を大切にする風土をつくる

支援する人・される人という「役割の壁」を超えて、その人らしさをまるごと大切にする風土づくり。形式的な役割よりも、関わり合いの中で育つ信頼を重視します。

🔥 存在目的（Evolutionary Purpose）みんなで“目的”を問い、育てる組織へ

法人としての“使命”を、役職者だけでなくすべての関係者が共に問い直し、育てていくプロセスを大切にする。対話を通じて全員で考え直す環境を大切にし、日々の活動の中で、私たちの目指す方向も深めていきます。

あごらびあは、「組織」っていうより、もっと生きている“場”でありたい。

命と物語が行き交う日々のなかで

支援も運営も、みんなで一緒につくっていく関係を大切にしていきます。

「ティール」って言葉にとらわれず、人と人がちゃんと向き合える

“人間らしい場のかたち”を、足元から探究していく一年とします。

Ⅳ.評価と改善

- ・各事業の年間報告（5月総会）に向け、半年ごとの中間振り返りを実施。
- ・自己点検・外部評価の導入（2025年度後半～）。
- ・ピア（利用者）満足度、地域との関係性、職員の成長実感などの質的評価を重視。
- ・「振り返りシート」を用いた内省と相互理解を促進し、次年度の職員の給与制度設計に反映。

運営体制構築のための中長期的な計画の作成に向けて（案）

【なぜ今、中長期的な計画と経営対策が必要なのか】

NPO 法人あごらびあは現在、5つの福祉事業（就労支援、グループホーム、地活2拠点、計画相談支援）を運営しています。それぞれが大切な役割を担う一方で、**コスト構造や収益性にばらつきがあり、法人全体としての経営基盤には課題が存在しています**。2025年度は、新たな地域活動支援センターⅠ型事業の立ち上げ準備と同時に、既存事業の**安定化と再構築**が求められる重要な転換点です。そのためには、「理念と経営」をつなぐ**中長期的な事業の運営計画**が不可欠です。あごらびあが大切にしてきた「対等な関係」「ともに育つ支援」「地域との共創」を継続・発展させていくためには、経営の足元を見つめ、組織としての“土台”を整える取り組みが今、必要とされています。以下の①～⑤について取り組みながら、中長期的な事業の運営計画の作成を進めていきましょう。

① 事業ごとのコスト構造・経営指標を「見える化」し、部門ごとの目標管理を導入

法人全体の財務状況を正しく把握し、事業別のコスト構造や収支を「見える化」することで、**責任ある目標管理が可能になります**。経営上のリスクを早期に発見し、対応する体制づくりが急務です。

② 法人内での業務改善提案を「ぴあぴあパーリー」にて現場発で共有・実行

「ぴあぴあパーリー」を通じて、現場の職員やピア（利用者）から業務改善や経営改革の提案を受け止め、「**みんなで経営する”文化を育てる土台**」として位置づけていきます。

③ 小規模収益事業の育成（イベント・委託販売等）および寄付・会費・ファン獲得を含む財源の多様化をはかる

イベント型収益事業や委託販売など、**小さくても多様な収益の柱を育てる**ことで、補助金依存の構造からの脱却を目指します。地域への発信やファンづくりを強化し、**寄付・会費・共感による支援の広がり**を財源の一部として組み込みます。これはあごらびあの存在意義を“社会とともに育てる”プロセスでもあります。

④ 法人全体で「あ・んの そば」の商品ブランド力強化と販売促進

高付加価値商品を核にしたブランド戦略を展開し、法人全体の収益力向上につなげていきます。

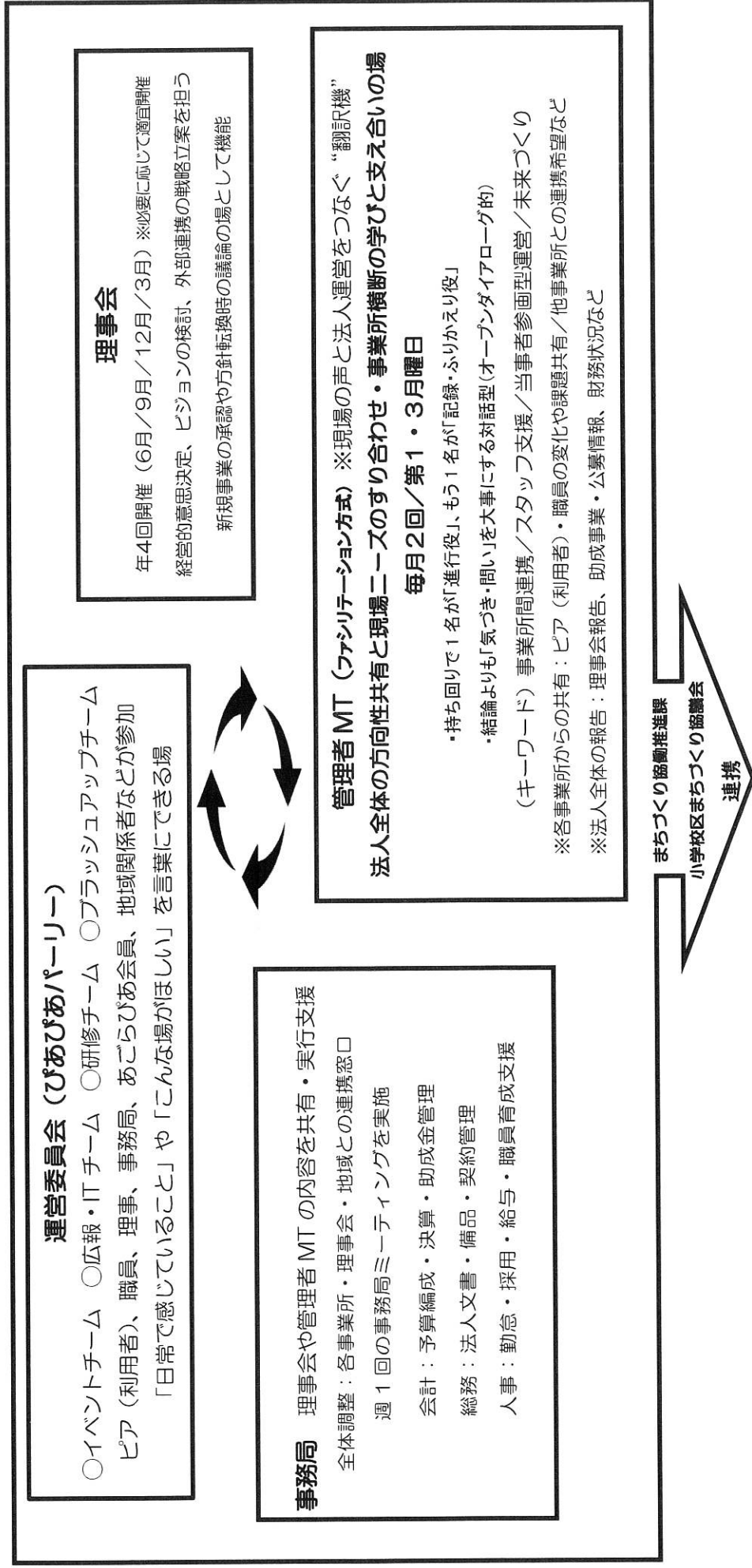
⑤ 人員配置の最適化と共に、いろいろな場面で動ける人を育てる

限られた人材を最大限に活かすため、**スリム化・兼任化・横断的な働き方**を導入し、柔軟で持続可能な運営体制へと移行していきます。

年度	組織づくり	経営目標
2025年度	つながりと土台づくり	赤字縮小、経営課題の可視化
2026年度	協働の定着と事業連携	収支バランスの回復（黒字化）
2027年度	※自律分散型運営の確立	黒字安定・地域発信力の向上

※「自律」→「自分で考えて動く」／「分散」→「それぞれの現場・人に任せる」

2025 年度 NPO 法人あごらびあ運営体制図（案）



あごらびあ会員のワクワク創出企画（案）
「ほのぼのプロジェクト～phase2～始動！」

【ほのぼのヒロバを『あごらびあ会員』へ開きます！】

目的

「NP0 法人あごらびあ」は『正会員と賛助会員』＝『あごらびあ会員』に支えられています。今回、『あごらびあ会員』の活動や交流の場として「ほのぼのヒロバ」をフリースペースとして活用することを提案します。「人とのつながり」や「日常のワクワク」を創出し、1人1人の暮らしがより豊かなものになることを目指します。その豊かな暮らしが「NP0 法人あごらびあ」と繋がることで、「あごらびあ」の活動の活性化、地域コミュニティの活性化を図っていきます。

使用例

- ・お友達を呼んで、こどもの誕生会
- ・趣味仲間とサークル活動
- ・1人きりでボーっと過ごす

期待される効果

- ① あごらびあ会員の拡大
- ② あごらびあ会員がリラックスできる場の創出でメンタルヘルスの改善
- ③ 実際の利用状況を分析することで、会員や地域の生活ニーズを把握できる
- ④ ①～③を通して「NP0 法人あごらびあ」の活動の活性化と発展を図る

利用対象者

- ① 2025年度
あごらびあ会員(正会員、賛助会員)
- ② 2026年度～
ぴあ（利用者）、地域住民、地域の学校関係者まで広げることを目標にする
（合わせて『あごらびあ当事者』）

「ほのぼのヒロバ」概要

那覇市長田1-19-17 スカイヒル8 101号室

広さ：4LDK

設備：キッチン、風呂、トイレ、ソファベッド、テーブル、冷蔵庫、調理器具・食器類、
音の出ないテレビ

<整備予定>

Wi-Fi 設備、IHコンロ、キーBOX

運営方法

- ① 予約制・・・電話またはオンライン（窓口は事務局）
- ② キーBOXの導入によるスムーズな鍵の管理
- ③ 定期的な清掃を「就労支援あ・ん」の作業活動に取り入れられないか？検討する
- ④ アンケート回答を利用の条件にする → さらなる活性化につなげる

必要経費

- ※家賃・水道光熱費
- ※通信費（Wi-Fi）
- ※メンテナンス費用

収益見込み

- ※正会員費・賛助会員費
- ※寄付金
- ※利用料
- ※助成金

利用料金（案）

検討中

広報

あごらびあ会員への広報
法人内告知

準備

ブラッシュアップチームと広報チーム、事務局の連携により準備を進める。

開始時期

2025年10月1日の運用開始を目標にする → ぴあぴあパーリーで決定する。

※別に運営規定を設けて詳細を明確にする。

- ・ゴミ持ち帰り
- ・寝具持ち込み

などについて

2025年度あごらぴあ年間スケジュール表

	大きなイベント	ソーシャルハウスあごら	はんだぴあ	就労支援あ・ん(松川)	就労支援あ・ん(にじいろ)	はんだ家	地域サポートあごらぴあ
4月	ぴあぴあ(事業計画・報告)		プチドライブ(トロピカルビーチ)				なはの多分野つながる会(隔月開催) 那覇市特定相談支援事業所連絡会(隔月開催)
5月			文化・芸術レク(映画鑑賞・太陽の運命) 会食レクリエーション(於:ルビー)	そば研修	店舗レイアウト変更		事業指定更新 拠点等整備説明会 城西小学校区まちづくり協議会(毎月開催)
6月	ぴあぴあ(通常総会)	あごらぴあ通常総会 【27日】精神障害福祉士協会の研修に参画 【28日】「GUITAR JOINT RECITAL」開催	あごらぴあ通常総会 新しい出会いを祈る会(アイデア・企画・企画)運動レクリエーション(企画募集)	あごらぴあ通常総会	あごらぴあ通常総会	あごらぴあ通常総会	「精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修」 城北小学校区まちづくり協議会(毎月開催)
7月	ぴあぴあ(チーム結成) 「広報IT」「研修」「イベント」「ブラッシュアップ」	【9日】県立看護大学の講義「リハビリ」と当事者活動に参加・参観 【18日】こころの健康フェスタ 【28日】北部看護学校の講義に参加・参観	こころの健康フェスタ 地域参加活動の本格始動	こころの健康フェスタ 職員研修(他事業所見学)	ドライブ@奥武島 そば作り体験受け入れ	はんだ家交流室オープン	松川小学校区まちづくり協議会(毎月開催)
8月	いしみなね地域福祉まつり	いしみなね地域福祉まつり	アイデア・企画募集レクリエーション いしみなね地域福祉まつり	いしみなね地域福祉まつり	いしみなね地域福祉まつり	いしみなね地域福祉まつり	いしみなね地域福祉まつり 相談支援従事者現任研修
9月	ぴあぴあ(研修) あごらぴあリーフレット作成(広報)	みんなで天久スポーツランドへ行こう	運動レクリエーション(交流企画) BBQビーチでパーティー		アルツハイマー・月間展示 (かなさんどん・カフェとのコラボ企画)	はんだ家day感謝day(第1回)	相談支援従事者現任研修
10月	あ・んのそばフェア ほのぼのプロジェクト (フリースペースオープン)	ビーチクリーニング(又は地域清掃)からのBBQパーティー あみ全国大会in福岡参加	繁多川まつり	そばフェア(10/17沖縄そばの日)		繁多川まつり	ほのぼの茶話会 あみ全国大会in福岡参加
11月	ぴあぴあ(イベント)	あごらボウリング大会 地活協祭り	地活協祭り	地活協祭り	地活協祭り	年越のための 大そうじツアースタート	ほのぼの茶話会
12月	年越そば	大掃除&忘年会	年末大掃除大会 忘年会	年越そばでてんでこ舞い	年越そば営業	年末年始特別プログラム	
1月		新年会	初詣 ムービー	新年会	新年会	はんだ家「地域連携推進会議」開催	ほのぼの茶話会
2月					にじいろ遠足 (名鑑まで行きたい！桜祭り・そば研修)		
3月	ぴあぴあ(発表会)			年度振り返り		はんだ家day感謝day(第2回)	那覇市相談事業所研修会

特定非営利活動法人あごらびあ 組織図

